

全日本学生バドミントン大学対抗戦 組み合わせ基準

令和7年4月16日
全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントン大学対抗戦は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シード決めは次の通りとする。

○出場資格

・32校

本戦：16校：東日本インカレ8校・西日本インカレ8校

推薦：16校：各3校（関東・関西）・各2校（北海道・東北・中部・中四国・九州）

○東西インカレの主管学連は、東西インカレ後結果を基に大学ランキング表を提出する。

※東西インカレ大会で3～4、5～8、9～16の抽選を行っておく。（3位決定戦を行った場合は3～4の抽選はなし）

1. 次の①により、1～16までシードする。

① 前回本大会の成績を基に、東西インカレの主管学連から提出された大学ランキング上位を順にあてはめていく。（東日本インカレ、西日本インカレ毎に同順位の場合、抽選にてランキングを決める）

・第1シード

前回本大会で優勝した東西地区での東西インカレ大学ランキング上位1校

・第2シード

前回本大会で準優勝した東西地区での東西インカレ大学ランキング上位1校

・第3～4シード

前回本大会ベスト4に入った東西地区での東西インカレ大学ランキング上位2校を抽選

・第5～8シード

前回本大会ベスト8に入った東西地区での東西インカレ大学ランキング上位4校を抽選

（東西インカレにおいて順位が違う大学が同じ抽選の場合は上位順位を優先してあてはめる）（例 東日本インカレにおいてベスト4とベスト8が同じ抽選の場合、ベスト4の大学を先にあてはめる）

・第9～16シード

前回本大会ベスト8に入った東西地区での東西インカレ大学ランキング8校を抽選（東西インカレにおいて順位が違う大学が同じ抽選の場合は上位順位を優先してあてはめる）

（前回大会の結果で、片方の地区がベスト16に9校以上入った場合、本戦出場の8校があてはめられた時点で、その後は他方の地区8校をあてはめる）

2. 各地区から推薦により出場している大学のうち、各地区下位9校（関東・関西：各下位2校、北海道・東北・中部・中四国・九州：各下位1校）から抽選により8校を8シード下に順次入れる。同地区の初回戦は避ける。

3. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一初回戦があった場合は、東西インカレ後に出されたランキング表の順位が下の大学と入替を行う。入替を行った先で同一初回戦になる場合は、更に一つ下の大学と入替を行う。
- ・順位が下の大学がいなくシードと対戦する場合は、シードと対戦するシード順位の近い大学と入替を行う。シードと対戦しない場所では、同じ山の近くの大学と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

- 東西インカレ主管学連は、東西インカレの結果を基に大学ランキング表を大学対抗戦主管学連及び全日本学連に速やかに提出する。
- 東西インカレ後地区学連は、地区推薦にて出場する大学ランキング表を大学対抗戦主管学連及び全日本学連に速やかに提出する。
- 大学対抗戦主管学連は、組合せ会議までに東西インカレ大会結果を基に作成された大学ランキング表、地区推薦大学ランキング表を用い、16シードまでの抽選及びシード下の抽選ができるようアサミ大会運営ソフトに入力を完了しておく。また、抽選内容が説明できるよう資料を準備する。

全日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和7年4月16日
全日本学生バドミントン連盟

【男女シングルス・男女ダブルス・混合ダブルス】

○出場資格

- ・ 前回本大会ベスト8以内（男女ダブルス、混合ダブルスは同ペアのみ）
- ・ 日本学生ランキング8位以内（東西インカレエントリー時のランキング表）（男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみ）
- ・ 96名（ペア）

本戦：東日本インカレ32名・西日本インカレ32名

推薦：東日本16名（北海道3名、東北3名、関東10名）

：西日本16名（中部4名、関西6名、中四国3名、九州3名）

※男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

※混合ダブルスは地区大会は同大学、同地区の他大学、また、東西インカレは東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。（地区推薦でインカレに出場する資格を得た場合は、男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみインカレ出場可。ペアが変わった場合は、地区推薦無効）

（例）地区大会Aさん・Bさんのペアリングで優勝（地区推薦対象）

東西インカレAさん・Cさんのペアリングでエントリー（Aさん・Bさんのペアリングでの地区推薦無効。インカレ出場不可）

1. 次の①により、1～32までシードする。

- ①東日本・西日本学生バドミントン選手権大会後にポイント計算された全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより1～32までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。（32シードで同ポイント抽選の場合は32以降もシードする）

※日本学生ランキングでシードが埋まらない場合は、以降自動抽選とする。

2. 各地区から推薦により出場している選手のうち、各地区の推薦人数の比率を基に、下位から16名（関東6名、関西4名、中部2名、北海道1名、東北1名、中四国1名、九州1名）を選出し、第1シードから第8シードのシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。同地区の初回戦は避ける。

3. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

※ポイントランキング制によるシード以外の選手については、所属バランスとダブルスパートナーの分離については、ソフト上で配慮されている。

★東西インカレにエントリーした種目、ペアのみインカレに出場可

★前回大会と同一初回戦は避ける

・同一初回戦があった場合は、同じ山の近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を全日本学連に提出する。

○東西インカレ主管学連は、東西インカレ終了後速やかに大会結果を全日本学連に提出する。

○インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力された名簿を各地区学連に公表し、各地区学連はエントリー漏れがないかチェックする。

○インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基に32シードまでに抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和7年4月16日
全日本学生バドミントン連盟

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シードは団体戦・個人戦それぞれ次の通りとする。

【団体戦の組み合わせ基準】

1. 次の①により、1～16までシードする。

① 前回本大会の成績を基に、地区学連から提出された大学ランキング上位を順にあてはめていく。

・第1シード

前回本大会で優勝した地区の大学ランキング上位1校

・第2シード

前回本大会で準優勝した地区の大学ランキング上位1校

・第3～4シード

前回本大会ベスト4に入った地区の大学ランキング上位2校を抽選

・第5～8シード

前回本大会ベスト8に入った地区の大学ランキング上位4校を抽選

・第9～16シード

前回本大会ベスト8に入った地区の大学ランキング上位8校を抽選

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★前回大会と同一初回戦は避ける

・同一初回戦があった場合は、地区学連から出されたランキング表の順位が下の大学と入替を行う。入替を行った先で同一初回戦になる場合は、更に一つ順位が下の大学と入替を行う。

・順位が下の大学がいなくシードと対戦する場合は、シードと対戦するシード順位の近い大学と入替を行う。シードと対戦しない場所では、同じ山の近くの大学と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

- 各地区学連は、各地区の大学ランキング表を提出する。
- 東西インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力された大学を各地区学連に公表し、各地区学連はエントリー漏れがないかチェックする。
- 東西インカレ主管学連は、組合せ会議までに各地区の大学ランキング表を用い、16シードまでの抽選ができるようアサミ大会運営ソフトに入力を完了しておく。また、抽選内容が説明できるよう資料を準備する。

★東西インカレ双方とも3位決定戦が実施可能な場合に限り、3位決定戦を行う。

【個人戦の組合せ基準】

1. 次の①によりシードする。

- ①東西インカレエントリー後の全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングによりポイント保有者全員をシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★エントリー数が320以上の種目では、ベスト32にスーパーシードを適用する。

★男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

★混合ダブルスは同大学、同地区の他大学、また、東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一对戦があった場合は、同じ山の近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

- 各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を全日本学連に提出する。
- 東西インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力された名簿を各地区学連に公表し、各地区学連はエントリー漏れがないかチェックする。
- 東西インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基にポイント保有者においてシード抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。

日本学生ランキングについて

令和7年4月16日
全日本学生バドミントン連盟

日本学生ランキング表を下記日本ランキング配点表にて作成し、地区大会、東西インカレ、全日本インカレに用いシード決めを行う。

日本学生ランキング配点表

100%（前回大会）						
	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
全国選抜	150	100	50	20		
インターハイ	200	150	100	50		
地区選手権	100	80	60	40	20	
東西インカレ	300	250	200	150	100	50
インカレ	600	500	400	300	200	100
全日本総合	1000	800	600	300	100	
ランキングサーキット	700	500	300	100	50	

80%（前々回大会）						
	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
全国選抜	120	80	40	16		
インターハイ	160	120	80	40		
地区選手権	80	64	48	32	16	
東西インカレ	240	200	160	120	80	40
インカレ	480	400	320	240	160	80
全日本総合	800	640	480	240	80	
ランキングサーキット	560	400	240	80	40	

- 過去2年間の大会結果を点数化し、直近大会を100%、前々回大会を80%で配点し、ランキング表を作成する。
- 全国選抜とインターハイは得点が高いものを採用する。（混合ダブルスの場合は、シングルス、ダブルスのどちらか良い方を配点する）
- （例）インターハイ シングルス3位（80点）、ダブルス準優勝（120点）
全国選抜 シングルス準優勝（80点）、ダブルスベスト8（40点）

インターハイ ダブルス準優勝（120点）を採用

- 日本学生ランキング表（個人ポイント）を地区選手権大会後、東西インカレ後の8月、全日本インカレ、全日本総合後の1月に公表する。
- 地区選手権大会、東西インカレ、全日本インカレのエントリー締め切り後、エントリー選手のための日本学生ランキング表を作成し組合せ会議まで公表し該当選手に確認をしてもらう。
- 地区選手権大会、東西インカレ、全日本インカレにおいて日本代表活動で不参加の場合は、エントリー選手のみで作成された日本学生ランキング相応の点数は配点する。